

政策 1 安全・安心な暮らしの実現

施策 1-2 健康づくりの推進

施策の目指す姿

心身の健康が保たれ、元気に生活を送っています。  
市民の自発的な健康づくりの取組が活発化しています。

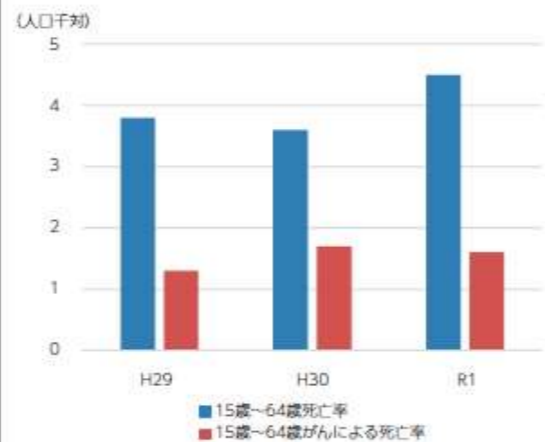
施策の成果指標

指標名	現状値 (令和元年度)	目標値 (令和6年度)	説明
人口一人当たりの医療費 (国民健康保険)	27,777円	27,665円	国保データベース (KDB) システムから取得した月額「市民一人当たりの医療費」です。
平均自立期間	男78.3歳 女83.7歳	男79.6歳 女84.0歳	国保データベース (KDB) システムから取得した「日常生活動作が自立している期間の平均」の期間(要介護2以上の期間を除いた期間)です。
人口千人当たりの15歳から64歳までの病気等での死亡率 (ケガ、事故を除く。)	2.3	1.9	1年間に病気(不慮の事故を除く。)で亡くなった15歳から64歳までの人口千人当たりの人数です。
人口10万人当たりの三大死因での死亡率 (悪性新生物)	392.7	351.0	1年間に三大死因(悪性新生物、心疾患、脳血管疾患)でなくなった市民の人口10万人当たりの人数です。
人口10万人当たりの三大死因での死亡率 (心疾患)	184.5	183.7	
人口10万人当たりの三大死因での死亡率 (脳血管障害)	132.5	128.1	

施策をとりまく環境変化と課題/施策の基本方針

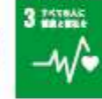
- 市民の健康の保持増進を図るため、「運動」「栄養」「休養」「健診」「生きがい」の5つの要素を基本の柱に据えて健康づくりを推進します。
- 高齢化の進展とともに、運動不足や食生活の乱れを原因とする生活習慣病が増加しています。国民健康保険の生活習慣病医療費割合では、糖尿病による医療費が県平均より2.5ポイント高く、生活習慣病予防が課題となっています。引き続き、特定健診受診率の向上と重症化予防に取り組みます。また、悪性新生物(がん)が、死因順位の第一位であり、早期発見・早期治療のためには、がん検診受診率を向上させる必要があります。
- 50~60歳代の運動不足解消のため、ラジオ体操普及事業やフィットネス機器一般開放を実施しています。今後は、健診や健康講座、運動教室などに参加する人が増えるような施策を検討し、健康寿命の延伸を図ります。
- 市の自殺率(人口10万対)は、令和元年は14.6となり、県平均より低くなりましたが、平成29年から令和元年までの3か年平均の自殺者数は8人という状況です。今後もこころの健康づくりの推進を図ります。

人口千人当たりの15歳~64歳の死亡率及びがんによる死亡率



資料: 調査自録書(健康推進課調べ)

国連サミットで採択された17の持続可能な開発目標(SDGs)との関連性



基本事業の構成

基本事業名	目指す姿	指標名	現状値 (令和元年度)	目標値 (令和6年度)	
01 望ましい食習慣の確立	食の大切さを理解し、望ましい食習慣を身につけている市民が増えています。	高血圧症の受療件数	1,379件	1,200件	
		適正な体重を維持していない市民の割合(40歳代から60歳代までの男女の肥満者の割合)	24.8%	24.2%	
02 運動・身体活動の推進	健康と運動に関する意識が高まり、日常的に運動する市民が増えています。	1日30分以上の軽く汗をかく運動を週2回以上実施している市民の割合	22.6%	34.0%	
		体操を定期的に実施している市民の割合	30.5%	40.0%	
03 禁煙と適正飲酒の推進	たばこを吸わない市民が増えています。多量飲酒による健康への害を理解し、適正飲酒を守っています。	習慣的に喫煙している市民の割合	16.9%	14.0%	
		適正飲酒を守っている市民の割合	71.9%	80.0%	
04 こころの健康づくりの推進	市民が悩んだ時に孤立せず、家族や地域の支え合いで、こころの健康を保っています。	悩みを相談できる人や場所を持っている市民の割合	89.6%	90.0%	
		自殺者数	8人	7人	
05 健(検)診受診率の向上	がん、脳卒中、糖尿病等の重症化を予防するため、特定健診・特定保健指導やがん検診を受診する市民が増えています。	特定健診受診率	42.7%	60.0%	
		特定保健指導実施率	56.7%	60.0%	
		各種がん検診の受診率(69歳以下)	肺	45.2%	50.0%
			胃	24.9%	60.0%
			大腸	41.5%	50.0%
乳	62.3%		60.0%		
子宮	46.1%	50.0%			
06 歯と口腔の健康づくりの推進	歯や口腔の健康が全身の健康の保持増進につながることを意識して、歯・口腔の健康づくりに取り組む市民が増えています。	定期的に歯科医院等で歯石除去や歯面清掃を受けている市民の割合	30.0%	30.0%	
		歯間部清掃用具(デンタルフロスや歯間ブラシ等)を使用している市民の割合	40.0%	42.0%	

用語解説

- 特定健診 40歳から74歳までの人を対象として、生活習慣病が引き起こされる確率が高いメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の該当者やその予備軍を判定するために行われる健診
- 特定保健指導 特定健診の結果、メタボリックシンドロームの該当者やその予備軍と判定された人に対して、保健師や管理栄養士などの専門スタッフが実施する生活習慣を改善するための指導